

【基本構想】

◎基本コンセプト

- (1) 市民の誰もが日常的にスポーツ活動、健康づくりに親しみ、利用できる体育館
 - 屋内スポーツ施設の拠点として健康増進や生きがいつくり、競技力向上など、日常的なスポーツ活動の場として活用
 - レクリエーションやスポーツクラブ等スポーツへの関わりの場として活用
 - 健康・体力づくりに励む市民同士の交流拠点として活用
- (2) 様々なスポーツ大会が開催され、スポーツ交流やイベントの拠点となる体育館
 - 既存施設では開催できなかった地区大会や県大会、またはそれ以上の大規模な大会の会場として活用
 - スポーツ交流の場、スポーツ推進イベントの場として活用
 - スポーツに限定しない各種イベントや集会の開催場所として活用
- (3) 災害時の拠点施設となる体育館
 - 緊急支援物資の保管場所として利用
 - 長期避難所としての活用
 - 隣接する施設との複合的な活用

◎延床面積 5,000㎡～7,000㎡

◎概算費用 類似団体を参考に30～40億円

導入機能	設備	市民検討委員会等意見	具体的な機能・設備 (整備の方向性)	基本構想 コンセプト との整合性	想定 延床面積	設備 配置 スペース	整備 費用	⇒	対応可 ○	要検討 △	対応不可 ×	備考 (要検討・対応不可理由)
1 競技機能	・メインアリーナ	(R3市民検討委員会) ・バドミントン、ミニバレーが活用できるようコートを作る。 ・バラスポーツが楽しいから行きたいと思える体育館 (R1体育協会要望) ・日向市ハンドボール協会 コート間を考慮すると、50m×50mの広さが望ましい。 ・日向市太極拳協会 大会運営の面を考えると50m×50mの広さが望ましい。	公式試合ができる基準の面数で、バスケットコート2面の広さを想定し、天井高は、他種目に対応できるものとする。 ・面積 48m×38m程度(約1,800㎡) ・天井高 13m ・バスケットコート2面、バレーコート3面、バドミントン・ミニバレー8面、ハンドボール1面 ・(障がい者スポーツ) 車いすバスケットボール、車いすラグビー、シッティングバレーボールなどバラスポーツに対応し、障がい者スポーツを支える施設環境の整備。 ・(バラスポーツを考慮した床材の検討)フローリング、樹脂性 【災害時】 ・避難者収容スペース(想定避難者数540人) ・食料等支援物資集積スペース	○ (1)(2)(3)	1,800	○			○			・アリーナ面積については、敷地面積が限られていることから、バスケットボールコート2面の広さを基準に48m×38m程度を想定している。
	・サブアリーナ	(R3市民検討委員会) ・武道場をサブアリーナとして使えるようにしてほしい。 ・武道場の両サイドにバスケットゴールをつけてほしい。	バスケットコート1面、バレーコート2面	○ (1)		×	コスト増			×	・敷地面積が限られていることから、サブアリーナの面積は確保できない。 (他自治体参考：700㎡～900㎡) ・バスケットやバレー等の武道場との併用については、武道場としてのみの利用時と比べ天井高が必要となることから、整備費用が増加することになり、全体の整備事業費へ影響が大きい。	

導入機能	設 備	市民検討委員会等意見	具体的な機能・設備 (整備の方向性)	基本構想 コンセプト との整合性	想定 延床面積	設備 配置 スペース	整備 費用	⇒	対応可 ○	要検討 △	対応不可 ×	備考 (要検討・対応不可理由)
	・ 武道場 (柔道場1面、剣道場1面)	(R1体育協会要望) ・ 日向地区柔道会 公式2面とれる14.55 m×29.1m以上の 大きさが望ましい。武道場にもトイレや 更衣室・会議室・備品収納庫が必要。床 は弾力性のもので、天井は圧迫感がない ような高いものが望ましい。武道場の 拡張が難しい場合は、大会時に公式2面 分の量をアリーナ部分に敷いて使用でき ることが望ましい。(畳の購入と保管庫 が必要) ・ 日向市なぎなた連盟 防具の長さが2.5mあるので、入口ドア はそれ以上の高さがあると良い。また、 型などを見るため、壁一面に鏡が設置し てあると良い。	競技スペースを2面確保。柔道場、剣道 場どちらでも使用できるものとし、軽ス ポーツ等多目的に利用できるものとし る。 ・ (柔道場の畳は1面分を固定とし、その 他はフレキシブルに利用可能とする) ・ (多様な利用ニーズに対応するために 多目的利用を想定した分割統合可能な空 間とする。) 【災害時】 ・ 避難者収容スペース	○ (1) (2)	600	○			○			
	・ 倉庫 (器具倉庫含む)		アリーナおよび武道場に近接して配置 し、利用形態に応じた運動器具、備品な どを効率的に収納できるよう、十分な面 積を確保する。また外部との搬出入動線 に配慮する。	○ (1) (2)	319	○			○			
	・ 空調設備		・ 熱中症対策など利用者の安全に考慮 し、バドミントンなどの競技の実施にも 配慮した空調設備を設置。(輻射式等)	○ (1) (2) (3)		○			○			
	・ ステージ	(R1ワーキング会議) (委員) 競技団体が大会時に使用する本 部席等の場所の要望はなかったか。 ⇒ (事務局) ステージの有無について は、他自治体においても設置の必要性等 について様々であり、今後、基本計画等 で検討していきたい。 (R3市民検討委員会) 事務局提案	・ 式典や大会等の本部席、学校体育館や 文化交流センター等の代替施設として活 用	○ (1) (2) (3)	140	△	コスト 増		○			・ 基本構想になし ・ 敷地面積が限られていることから、延 床面積等も考慮。(仮設の検討)
2 観覧機能	・ 観客席 (2階:464席)		固定席500席程度とし、車椅子利用者席 を設けるほか、大規模なイベント開催時 などにはアリーナ部分への仮設椅子を設 置。また、車いす利用者の専用スペース を設けるとともに、観戦する全ての人に 優しい施設として、段差や傾斜はできる だけ緩やかなものとする。 【災害時】 ・ 避難者収容スペース ・ 食料等支援物資集積スペース	○ (1) (2) (3)	400	○			○			
3 管理・サービス機能	・ ユニバーサルデザイン (高齢者、障が い者等に配慮した施設整備)	(R3市民検討委員会) ・ バリアフリー化	新体育館では、段差の解消、スロープや エレベーターの設置等、誰もが使いやすい ユニバーサルデザインを推進し、高齢 者や障がい者の方にも十分に配慮した人 にやさしい施設とする。	○ (1) (2) (3)					○			

導入機能	設 備	市民検討委員会等意見	具体的な機能・設備 (整備の方向性)	基本構想 コンセプト との整合性	想定 延床面積	設備 配置 スペース	整備 費用	⇒	対応可 ○	要検討 △	対応不可 ×	備考 (要検討・対応不可理由)
	・更衣室、シャワー室 ・障がい者用更衣室・シャワールーム		・男女別に更衣室、シャワー室を整備し、車いす利用者が使いやすいよう広めのシャワーブースを設置するなど、誰もが安全で使いやすいように整備する。	○ (1) (2) (3)	400				○			
	・トイレ	(R3市民検討委員会) ・多目的トイレは男女共用が良いのか、要検討 ・車イス用トイレの設置 ・女性用トイレを増やす ・体育館に隣接する屋外トイレの設置	障がい者や高齢者、乳幼児連れの人などに配慮したトイレを整備する。多目的トイレは各階に設け、おむつ交換台、ベビーチェア、オストメイト対応設備等を整備する。	○ (1) (2) (3)					○			・障がい者用トイレの広さは、全体の延床面積や他自治体の事例等により検討 ・屋外トイレは、陸上競技場等のトイレの活用
	・会議室（控え室としての活用含む）		市民や各種団体による活動・交流、各種イベント・大会運営時の利用など、幅広い用途で使用できる会議室・控室を整備する。使用頻度を高めるために分割利用できる仕様とし、音に配慮する活動に対応できるよう防音仕様とする。 【災害時】 ・避難者収容スペース ・避難所運営スタッフスペース ・ボランティア運営スタッフスペース ・関係機関の運営スペース（消防、警察、自衛隊等） ・感染症等に対応する隔離スペース	○ (1) (2) (3)	300				○			
	・エレベーター	要望	エレベーターは安全なつくりとし、だれでも使いやすいようにユニバーサルデザインに配慮する。	○ (1) (2) (3)	4				○			広めのエレベーター（トランクルーム付き）の検討。
	・エントランスホール、ロビー、通路等		エントランスホール、ロビー、廊下は、様々な目的で集まる利用者の談話・交流・休憩スペースとして利用しても動線に支障がないよう十分な広さを確保する。スポーツ情報、市民活動の発表の場となる展示スペースなど、市民活動を支援するスペースを適宜設置する。 【災害時】 ・避難者受入を行うスペース ・情報掲示、発信スペース		600				○			
	・事務室		体育館の管理機能を持つ事務室は、利用者・観客動線や管理動線なども考慮し、配置する。 【災害時】 ・避難所の管理運営スペース		82				○			
	・放送室		大会開催時や音響使用時に必要となる放送機能を持つ放送室を設置する。アリーナ全体の状況が分かるように、アリーナに面する形で配置する。	○ (1) (2) (3)	14				○			

導入機能	設 備	市民検討委員会等意見	具体的な機能・設備 (整備の方向性)	基本構想 コンセプト との整合性	想定 延床面積	設備 配置 スペース	整備 費用	⇒	対応可 ○	要検討 △	対応不可 ×	備考 (要検討・対応不可理由)
	・授乳室		キッズルームとしての役割も持つ交流室との位置関係を考慮しながら、設置します。	○ (1) (2) (3)	8				○			
	・救護室		救護室は、緊急時の簡易な応急処置が行えるように設置する。医療関係者の常駐は基本的には行わない。	○ (1) (2) (3)	33				○			
	・交流室 (キッズルーム含む)	(R3市民検討委員会) ・交流室 (キッズルーム含む)	・利用者の休憩場所や、市民が気軽に訪れ、交流する場。 ・幼児を持つ保護者のスポーツ活動を支援するスペースとして、アリーナに隣接した場所に設置。 ・託児室としての利用も想定。	○ (1) (2)	200	△	コスト増		○			キッズルーム的な機能としてすぎだまプール等の設置。
	・託児室	(R3市民検討委員会) ・託児ルームにミニ図書コーナー		○ (1) (2) (3)		△	コスト増				×	ハード的な整備はスペース的に難しいため、交流室で対応。
	・ICT関連	(R3市民検討委員会) ・wi-fiの設置	無料無線LAN (フリーwifi) を整備し、タイムリーな情報の送受信ができる環境を整備する。 予約システム、キャッシュレス決済等の導入。	○ (1) (2) (3)					○			
4 健康増進機能、交流機能	・多目的室 (軽スポーツ、ダンス等)		可動間仕切りを設置するほか、壁面には可動式か固定の鏡を設置し、各種ダンスや健康体操などの使用に対応できるよう配慮する。また、研修会での利用、大会役員室、選手控え室等、多目的な使用ができるよう整備する。 【災害時】 ・避難者収容スペース	○ (1) (2) (3)	250				○			
	・ウォーキング・ランニングコース	(R3市民検討委員会) ・ウォーキングコースをランニング可にする。	観客席の後ろに周回可能なウォーキングコースを整備する。(ランニングに適した床材とする。) 観覧者とウォーキング・ランニングコース利用者の動線に配慮して計画し、手すりなどの安全対策にも十分に配慮する。	○ (1)	700				○			ランニング可については、廊下の幅やウォーキング利用者との動線の色分け、周り方、床材等の検討。
	・ボルタリング	(R3市民検討委員会) ・体育館屋外の壁にボルタリング用の施設を作ってほしい。		○ (1)							×	外壁の活用等については、基本設計時に検討
	・ミニ図書館			○ (2)		△	コスト増				×	ハード的な整備はスペース的に難しいため、他の諸室に本を設置する等、ミニ図書コーナーで対応。

導入機能	設 備	市民検討委員会等意見	具体的な機能・設備 (整備の方向性)	基本構想 コンセプト との整合性	想定 延床面積	設備 配置 スペース	整備 費用	⇒	対応可 ○	要検討 △	対応不可 ×	備考 (要検討・対応不可理由)
	・カフェ ・喫茶コーナー	(R3市民検討委員会) (R2日向高校) ・スポーツを見る視点から、軽食が出来る場所、軽食を提供する場所の設置	施設利用者が休憩や飲食に利用できる場所の設置	○ (1) (2)		△	コスト 増				×	ハード的な整備はスペース的に難しく、コスト増となるため、交流室等、飲食ができるスペース等を検討する。 ・(交流室設置の検討) 競技者や観戦者などが、自由に待機したり休憩する場所として、また、スポーツ利用だけではなく、多くの市民が気軽に訪れ、交流することができるよう、開放的な交流室を設置する。 ・椅子やテーブル、自動販売機コーナーを設置するなど、飲食もできるスペースとする。 ・エントランスホール活用も検討
	・学習スペース	(R2日向高校)		○ (2)		△	コスト 増				×	ハード的な整備はスペース的に難しいため、交流室等、他の諸室の活用の検討。
	・トレーニング室	(R3市民アンケート) ・筋力向上の為、トレーニング施設等も設置して頂きたい。 ・スポーツジムを併設して欲しい。 ・安く利用できるスポーツジムを作ってほしい。サンドームは壊れていて不便。	・利用者の健康、体力の保持増進を目的とし、広くニーズに応えるトレーニング機器の設置や一部にストレッチ運動が可能なスペースを設ける。(リースなどコスト削減) ・合宿等による活用	○ (1) (2)	100				○			・基本構想になし
5 災害時の拠点機能	・備蓄倉庫	(R3市民検討委員会) ・アリーナ及び2階ウォーキングコースに設置できる宿泊用パーツ(ユニット)の準備	指定避難場所として、災害発生時の応急・復旧に必要な備品・資機材の保管。 (3日分の食料・飲料水等)	○ (3)	100				○			・宿泊用パーツ等の資機材を搬入する場合は、延床面積が大きくなる可能性あり。
	・非常用電源設備			○ (3)					○			
	・非常用給水設備(飲用・雑用水)			○ (3)					○			
6 その他	・機械室等			○ (1) (2) (3)	450				○			

計 6,500